

# 日本鐵鋼協會第27回講演大會 並に第27回通常總會記事

## 目 次

I. 實施概要	471	2. 表彰者推薦理由書	491
II. 講演大會	471	IV. 春季大會晚餐會記事	493
III. 通常總會	475	V. 製鐵製鋼用參考品展覽會記事	498
1. 會務及び會計報告	475		

### I. 實 施 概 要

日 時 自昭和 17 年 4 月 4 日 (土) 至昭和 17 年 4 月 7 日

- 會 場
1. 第 27 回講演大會 神田區一ツ橋 2 丁目 9 番地
  2. 第 27 回通常總會 帝國教育會館
  3. 晚 餐 會 神田區一ツ橋帝國學士會館
  4. 製鐵製鋼用參考品展覽會  
芝區海岸通 1 丁目東京府立工業獎勵館

#### 出席者

大會出席申込者	1,332 名
實際出席者	954 名
第 1 日 (講演) 出席者	788 名
第 2 日 (講演) 出席者	765 名
第 3 日 (見學) 出席者	618 名
A 班 足立製鋼所	71 名
C 班 中央度量衡檢定所	17 名
D 班 工業電氣計器	15 名
E 班 荏原製作所	48 名
F 班 富士製鋼所	95 名
K 班 川崎窯業	32 名
N 班 日産自動車	77 名
R 班 鐵道大臣官房研究所	62 名
S 班 芝浦共同工業	68 名
T 班 日本鑄鋼	63 名

#### 配布印刷物

- (1) 昭和 16 年度會務會計報告書
- (2) 出席者名簿
- (3) 服部賞, 香村賞, 俵賞, 渡邊賞各受領者推薦理由書
- (4) 第 27 回講演大會講演大要

### 第 27 回 講 演 大 會

第 1 日 4 月 4 日 (土) 午前 8 時 30 分開會

定刻の振鈴にて出席者總員に對し渡邊會長より一場の挨拶あり、開會を宣し直に第 1 會場, 第 2 會場に分れ左記諸君の司會の下に夫々豫定の通り講演プログラムが進められた。唯第 48 番原田源三郎

君の「タングステン」鑽石を用ひて直接タングステン鋼を熔製せる工業實驗報告が都合上取止めとなり、38 番大野田剛君, 44 番鈴木芳郎君が事故の爲缺講された外極めて順調に進行した。午後 5 時 55 分閉會。本日司會の勞を執られし方々は次の通り。

	第 1 會場	第 2 會場
自 8.40 至 9.50	渡邊 三郎君	鹽澤 正一君
自 10.05 至 11.15	石田 四郎君	井村 竹市君
自 1.00 至 2.05	俵 國 一君	石原 善雄君
自 2.20 至 3.30	河 村 驍君	黒田 泰造君
自 3.45 至 4.55	川上 義弘君	齋藤 大吉君
自 5.10 至 5.55	網谷 俊平君	松下 長久君

### 晚 餐 會

午後 6 時 15 分開會

出席者 實際 178 名 申込 197 名

内譯 表彰者	12 名	見學工場主	9 名
講演者	55 名	實行委員	13 名
其他	1 名	會 員	88 名

### 會 場 帝 國 學 士 會 館

大東亞戰爭始つてより滿 4 ヶ月御變威の下共榮圏は已に確定せられ未だ一度の敵機空襲すら見ることなく、斯くも盛大なる會合を見ることが得しは誠に欣賀に耐へざるところである。デザートは例に依り金屬學會長本多光太郎君, 受賞者を代表して川上義弘君, 見學工場主を代表して久芳道雄君, それから尾藤加勢土君, 河村驍君, 齋藤大吉君, 並に新會長松下長久君の和かな裡にも多大の教訓に満ちた卓上談話あり, 早くも 9 時を過ぐ。會長立つて二年間の任期中多方面より寄せられたる御好意を感謝し且一同の健康を祝して閉會を告ぐ。

第 2 日 4 月 5 日 (日) 講演會第 2 日 午前 8 時 40 分開會

本年は第 1 日も第 2 日も又午前中も午後中也仕舞まで出席の減少を見なかつたことは例年にない事柄で、一つは機械學會, 金屬學會も略同一時期に講演會があつた爲ならむとの説もあつた, 兎に角近頃ない緊張を見たことは時局の影響も有つたらしい。プログラム全部は最も順調に終了することが出来た。

講演全部終了後會員全部の第 1 會場集合を俟つて渡邊會長は次の如く閉會の辭を述べられた。